

■事業者向け(放デイ)_わくわくクラブ本厚木校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現況や改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	1	有効活用できている。今後も適正な基準内で児童の特性における行動の特徴を考慮しながら適宜善処する。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			法令に則った人員配置基準は満たしている。一部の職員に負荷がかかりすぎることがないようにより充実させていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3		現状設備の中では最大限の配慮がなされているが、部分的に改善の余地がある為、優先順位を立てながら計画的に適宜整備していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1		各種会議体の中で、協議と情報共有を図っている。また責任者による個別の面談等を通して職員一人ひとりの目標設定と改善行動の醸成に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		保護者の意向はその意向の背景などを分析して業務改善の必要性を検討し、必要性があると認められる場合には可及的速やかに善処するよう努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2		公表している。今後は公表されていることを周知する努力をしていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	1	完全なる外部機関による評価は行っていないが、法人内において当事業と直接関係のない人物による客観的評価を法人内規程に則って実施している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			法人内において徹底した研修計画に基づき知識・技術・思考等、他角度から職員の資質向上を図っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			ご家庭ごとのアセスメント等に基づいた計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			利用に際し、ご家庭の状況や児童の行動面での分析をする為のツールを提出していただいている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			事業所内において協議の上立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		事業所内において協議の上立案している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			季節や時期も含めた様々な視点で課題を設定するよう努めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			児童の特性に応じて検討している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		毎日定例で行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			日報や回覧板等を活用し、共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			情報管理はすばやく正確に行うことを徹底し、より良い支援に生かすよう努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	2		定期的に実施検討している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	1		児童の特性に応じて組み合わせている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			事業所ごとに必要性に応じて適切な担当者を決定して参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1	1	十分とは言えないと考える。保護者を通じての情報共有に留まっている。今後はより緻密な体制を整備していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	3		医療的ケアが必要な児童が在籍する場合は主治医等と連絡体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2	1	必要に応じて情報共有を図っていくが情報の拡散歪曲防止のため窓口は統一していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	1	基本的には移行先等から情報共有を求められるなどに応じて情報共有を図っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	1	研修等に積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	3	今後は児童の実態に応じて立案していきたいと考えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	3	1	必要性に応じて参加を検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			毎日保護者の方とコミュニケーションを図りながら信頼関係の醸成に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2	2	「トレーニング」というほどのものではないが保護者とのコミュニケーションの中で適宜取り入れている。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			丁寧に説明を行い不安を拭えるよう努めている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			定期的に情報交換をする場を設け、悩み等の聴き取りとケアに努めている。
	32	保護者説明会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	2	定期的に情報交換をする場を設け、保護者同士の横のつながりを醸成できるように努めている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		苦情には誠実かつ可及的速やかに対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			定期的なお手紙やHP上での情報発信に努めている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			法人内で規程を設けており、規程に則って適切に管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		基礎的・基本的事項と配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	4	十分にできているとは言えない。今後は地域に根ざした事業所として発信力を強めていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1		マニュアル化されているが、保護者への周知は十分ではないと考えている。今後周知の仕方を検討している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			適宜行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2		法人内外の研修等に適切な人員が参加し、職員同士の情報共有に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	1	契約時に保護者に説明の上で対応方法について共有している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		医師の診断書等は必要に応じて保護者に提出を求めており、提出があれば必要な配慮を講じる。
	43	ヒヤリハット報告書を作成して事業所内で共有しているか	8			作成及び共有は常時行われている。